

今週3回分は「名詞の性別」について説明する。今回は属格。

属格は英語でいうところの所有格に相当する格であるが、ウクライナ語では三人称以外で所有格と属格は異なる格である。日本語の、「～の」に相当する。

まずは男性名詞。男性名詞の属格は単数主格の語尾が子音字なら **a** か **y** を付け、**ь** か **й** なら **я** か **ю** に変える。複数形は主格の語尾が **i** なら **iv** に、それ以外なら **iv** に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Мені **чотирнадцять років**. (私は14歳だ。)
- Її **тата** звали Кен. (彼女のパパの名前はケンだ。)

次は中性名詞。中性名詞の属格は単数主格の語尾が **o** なら **a** に、**e** なら **a** か **я** に変え、**я** ならそのまま。複数形は主格の語尾が **a** なら **a** を取り、**я** なら **ь** に変えるか **я** を取る。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Тут **п'ять яєць**. (ここに卵が5個ある。)
- Немає **яблук**. (リンゴはない。)

次は女性名詞。女性名詞の属格は単数主格の語尾が **а** なら **и** か **і** に、**я** なら **і** か **ї** に変える。複数形は主格の語尾が **и** なら **и** を取り、**і** なら **ь** に変えるか **і** を取り、**ї** なら **й** に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Це коштує сорок **гривень**. (それに 40 フリヴニヤかかった。)
- Тут **п'ять студенток**. (ここに女性の生徒が 5 人いる。)

このように数字に関わる場合に属格化することが多い。具体的には下 2 桁が 5~20 及び 25 以降の 1 の位が 5~0 のときにこの形になる。

最後に人称代名詞。対格のときに説明できていなかったののでここで対格とまとめて説明する。人称代名詞の対格と属格はそれぞれがほとんど同じ形である。詳細は次ページの表を参照。

「私は～を持っている」というときに使う **У мене є** は、**мене** の部分が属格である。

例文(太字部分が属格である。)

- **У мене є сестра**. (私には姉(or 妹)がいる。)
- **Моя тітка теж його тітка**. (私のおばさんは彼のおばさんでもある。)

人称代名詞の属格・対格(三単=三人称単数)

人称	主格	属格	対格
一単	я	мене	мене
二単	ти	тебе	тебе
三単	він	його/нього	його
	вона	її/неї	її
	воно	його/нього	його
一複	ми	нас	нас
二複	ви	вас	вас
三複	вони	їх/них	їх/них

□練習問題

ウクライナ語は和訳し、和文はウクライナ語にせよ。

- (1) У мене є води.
- (2) Я її люблю.
- (3) Це не моя спідниця.
- (4) その昼食に 30 フリヴニャかかった。
- (5) 彼は 44 歳？
- (6) 彼のパパの名前はハルミチだ。

◇単語集 今回は猫、リンゴ、魚の格変化も用意した。

単語	意味
але	しかし
дідусь	おじいさん
знати	知る
море	海
так собі	まあまあ
чоботи	ブーツ

кіт(オス猫)

	主格	属格	対格
単数	кіт	кота	кіт
複数	коти	котів	котів

яблуко(リンゴ)

	主格	属格	対格
単数	яблуко	яблука	яблуко
複数	яблука	яблук	яблука

руба(魚)

	主格	属格	対格
単数	руба	риби	рубу
複数	руби	руб	руб